



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは今日、原爆先生の話しを聞いて戦争と言うのは、すごくこわいなと思いました。戦争の中でも、もっともこわい広島に投下されたリトルボーイ(原爆)は、すごくこわいなと思いました。

ぼくは、今のようリトルボーイ(原爆)がぼく発した時の中心は100万℃で周りは7000℃で600Mはなれたところで爆発し、爆した600M下のところでも3000℃ですべてが太陽よりもあつく、じかにも今は、リトルボーイ(原爆)の1000倍の強さがあるのを初めて知りました。

ぼくがじいに残った事は、リトルボーイ(原爆)で逃げこけた人がひびをたらしながらも生ようとして、原爆先生がその話しをしてくれた時、想像するだけですが、すごくこわかったです。ぼくは、そのが気がするくこわいといっていますすが、実際に体験している人は、もっとこわいんだな、いやこわいよりも、もっともこわいんだなと思いました。

だからぼくは、この大事な命を大切にしていってほしいなと思いました。

原爆先生、今日は本当に

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業で、先生の話を聞き、今私たちがこうやって平和にくらしているのは、どんなに幸せなことだろうと思いました。

今日の話の主人公(先生の父)は、17才という若さで軍に入り、とてもおそろしい体験をしてしまい、体よりも心のキズをおおったと思います。「大やけどでひふがベロンベロンになっていた」と先生が語ったときに、その様子を想像しただけで、私もむねがとても痛くなったからです。

こんなにつらい出来事が原ばくドームにあったと知ることができてよかったです。悲しいけど、この出来事を知ること、戦争はやってはいけなないと強く思えました。

私も、先生のように今日聞いたことを、親や友達にも伝え、今よりもっと平和な世の中をきずいていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の特別授業を受講して、資料でしか分からなかった原爆の様子がより鮮明に分かれました。人が両手をたらして、全身にやけどをおって歩く姿は自分でも想像ができません。また、人が黒こげになって死んでいる姿も想像ができません。私達は体験をしていませんので体験者の見た様子とは違う様子だと考えています。でも、体験者が苦しい思いをしたことは分かりました。

私は、特別授業を受講して、こう考えました。人間が人間によってこういうことが起きるこの世界をどうすれば平和に近いようにできるか、と。その考えに私はこういう結論を見い出しました。人間が人間であることを実感するため、この原爆先生のように語り継ぐ者の話を聞くことが、未来の平和に近い世界を創るために必要だと。

これからも戦争はつづくことでしょう。この戦争があったことが、未来に伝わりますように願います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日の授業で、いままでは資料でしか調べられなか。た。り。れ。ど、その他にも色々分かりました。私は原爆について、ほとんど知りませんでした。しかし、今日の授業で、初めて原爆の被害を知りました。たった「ルフボールくらゐ」のウラニでも、広島の人々を苦しめる原因になることも分かりました。話を聞いているうちに、だんだんこわくなりました。助かった人もいたけれど、どれほどこわかったか、私には分かりませんでした。私が思っている以上にこわい思いをしたと思うからです。

私が心に残っているのは4つあります。

1つ目は、手多さしのやて、「助けて」と言ってくる人々がいたことです。2つ目は、8日間にもわたる、広島での生活です。3つ目は、150m先でも助かった人がいたことです。4つ目は、5人に2人が死んでしまっていることです。原爆の被害で5人に2人が死んでしまうことをしてとてもおどろいたからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の特別授業を受けて思ったことは、原爆先生のちちおやが「じっさいにけいけんしたはなしの中で「せんそうじだいで」のおとうさんはとっせんの光がはなつたとき、話しているときほくは、あれが「原爆だ」と思っていました。原爆のあつさで「ちかくにいた人たちを「あつさでおおいあつさ」でしたへいたいなど」が「たすけようとするか」「ひるなど」が「はか」れるときいたときはそっとうしました。あつさとしょうげきはでんが「きえるときいたときもびりくりしました。だからせんそうじだいはごおいなどおもっていました。だからさいごにでてきたおとうさんはとてもつらそうしはなしをしていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この特別授業を受講して、原子爆弾の怖さを知り、この怖さを、人類の存在がある限り、伝えていかなければならないと思いました。ウラン60kgの中で1kgしか使わず、広島市の人口の40%が亡くなり、約70%の人が被爆してしまいました。でもこの1kgというのは、その時代の技術でしか使えなかったもの。だから、今の時代60kgなど、安易に使えることでしょう。60kgも使ってしまったら、日本がなくなってしまう。でも過去にはもどることはできません。なので、一人一人が原子爆弾の怖さを知り、二度と同じような失敗をしないため、努力することが大切だと思います。なんで原子爆弾を使ってしまったのか、戦争です。戦争がなければ、原子爆弾が落とされず、悲惨な事にはならなかったはず。戦争を防ぐには、身近な喧嘩をなくすことからではないでしょうか。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

この特別授業のとちゅうに、三分の動画を見たとき原爆の強さ恐ろしさがありました。これがもし今も使われていたら、世界で何かおこるか想像がつきません。

そのほかに、衝撃波の速さにおどろきました。

音速は350M/秒なのに、衝撃波の速さは500M/秒で、約1.5倍ほどの速さになりました。

広島県の人口の40%が死んだということ、熱線の温度が太陽の温度の1000℃も高いこと、原子爆弾の投下都市の条件がはるかにひどいことを初めて知りました。

最後の5分の動画をみて、義三さんは、戦争中、とても苦しい思いをしたと思います。

ほくは、戦争を体験したことがないけれど、今日、ようやく、戦争のことがわかりました。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は今日戦争のことを学びました。原爆のこと、そして思いをされた人々
のこと。私は、この学習を通じて、初めて知ったことがたくさんありました。
私が心に残ったのは、21に出てきた広島市人口や、被爆者
数、死者数、そして死亡率の高さに私はとてもおどろきまして、
死亡率40% 5人に2人が原子爆弾によって死亡 私はなぜ
が戦争を体験したことがないのに、心がとても痛くなります。
そして私は自分の生活を見なおしました。

私は今あたり前のよりに生きています。そしてあたり前のよ
りに生活しています。

だから、この生活を、あたり前だとは思ってほ
いけなさいと思ったり。

そして、この学習を通じて、戦争について
きよみを持つことが出来ました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

今日私は原爆先生の話を聞いて原爆に対する考え方が変わりました。例えば、原子力爆弾のしくみや怖さなど。他にも原爆資料館で実際に原爆を経験した池田義三さんが資料館の入り口を見て、「怖いと言ったことは私にとってとても原爆の怖さが思い笑われるような気がしました。また、今世界各国が原子力爆弾よりも怖い、おそろしい武器を持っていることを聞いて、私は鳥肌がたつてしまいとても怖かったです。

今日家に帰ったら、すぐに原爆先生の話を家族に話そうと思っています。私が原爆に対する考えを新しく持つことができたのは、原爆先生のおかげだと思います。今日は一日ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

《原爆先生のお話を聞いて、映像を観ての感想》

原爆先生の池田眞徳さんのお話を聞いて、原爆の事や原爆の恐ろしさ、被爆者の事など、たくさんのお話を聞き、学びました。初めて知った事もたくさんありました。

一つは、リトルボーイには60kgものウランを積んでいたというのに、7kgしか燃焼しなかった事。それはまだこのころには技術が追いついていなかったからだという。たった7kgで広島でもものすごい被害があり、もし60kgものウランを燃焼していたらと思うととても恐ろしくなった。

あとは、広島市人口35万人に対して被爆者数24万人、死者数は74万人。5人に2人死んでしまったという事。その内2万人は、一瞬で亡くなってしまったという。今日の授業の最後に見た原爆先生の父池田義三さんの映像を観て、原爆の辛さ、苦しさを伝えている池田義三さんが次第にどんどんと辛そうに話しているのを見て、原爆の辛さ、苦しさがものすごく伝わった。今日、この授業を受けられた事がとても良かったと思っています。



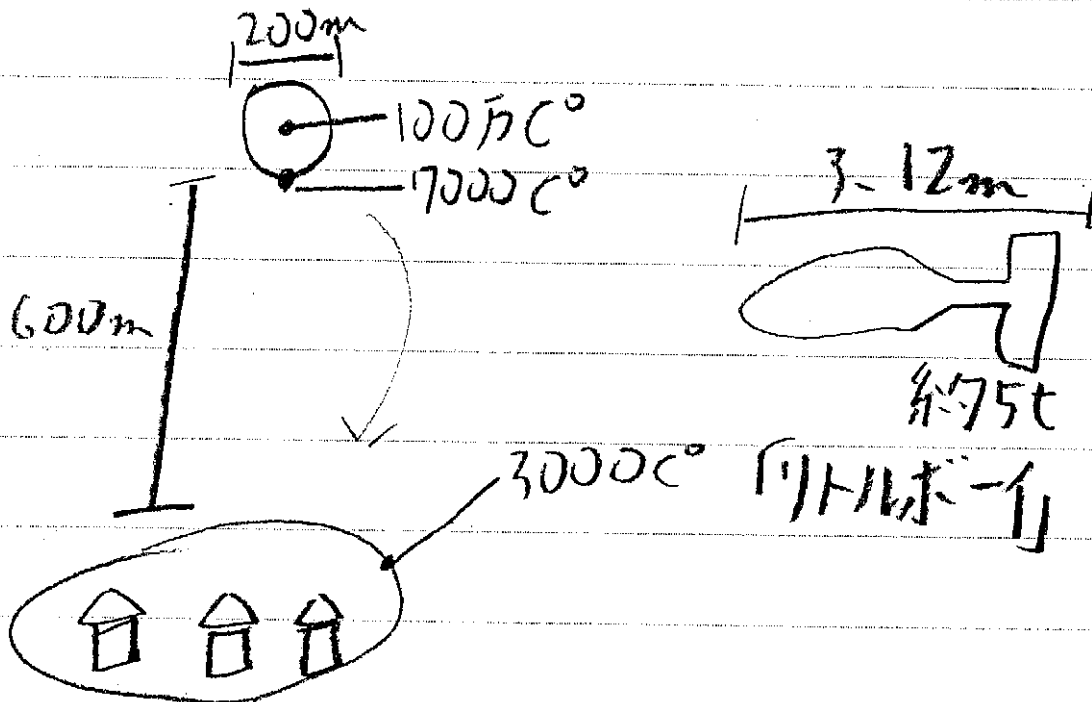
原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて心に残ったことは、「B29爆撃機 エノラゲイ」が落とした「リトルボーイ」による数多のむがいを受けた人々の姿が怖かったからとて心に残りました。その「リトルボーイ」に入っているウランが1kg使っただけで広島市をこっぴおじんにかきとばしたことを初めて知ってとてもおどろきました。その爆発のそとが沸は7000℃、うちが沸は100万℃あるといふことにもとてもおどろきました。





原爆先生の特^{じゆこ}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この授業を受けてみて感じた事は、池田けん三さんが戦争の事や原爆の事や原子原爆だん^{だん}の事をまじえて本気で話してくれた先生ありがとうございます。けん三さんビデオを見ました。つらい事を思い出してしまいました。それは、ぼくがけん三さんだった本当にです。でもけん三さんは、つらいけどがんばってせめていいました。ぼくは、みんなにつらい事はけして言いません。でもけん三さんは、言っていたのだと思います。そしてせめていい関係している。本当につらかったんだと思います。ぼくは、いつかけん三さんみたいになりたいなと思います。いろんな事けん三さんのせめていいです。ありがとうございます。本当につらかったです。本当にぼく達、みんなを助けた本当にありがとうございます。どうもありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/10

☆ 今回、授業で初めて知ったこと ☆

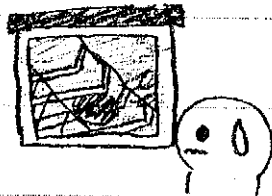
・ 1kgの小さな玉でばくはつしていたこと 1kg
 → たった1kgの玉で40%の人がなくなってしまうなんて、
 おそろしいです (おそろしい) しかも、7000℃ たったなんて...

☆ 今回の授業で感じたこと ☆

・ 生き永らした人も、なくなってしまう人も、
人生で一番のこらい思いをしたのではないか。と感じ
 ました。 ↓
 <私にはわかりませんが...>

☆ 今回の授業で心に残ったこと ☆

・ 映像でのばくはつの時です
 → 一瞬で人々の姿が消えていく映像をみて
 「この時に、自分はどうすればいいのかわからない」とドキドキし
 ながら見ました。



☆ 感想 ☆

原爆先生のお父さんのビデオで「原爆」のおそろしさを
 伝えたかった先生のお父さん。未体験の私にはわかりませんが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

れほど「おそろしかったんだ」と思いました。1kgの玉、私は1kgで
 よかったのではないかと思います。本心は1kgでもた「めた」と思いますが、
 の5kgだと、死傷率100%だとおなじみの1kgだとよかったです。と思いました。

「おそろしい」
 「おそろしい」
 「おそろしい」



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕はこの授業を通して様々な事を学び、感じました。

おどろきながらも学んだ事は、原爆のしくみです。大量の人間を殺し、後い傷までもいたらしめたのは、与七のおくではなく、1kgほどのゴルフボールサイズの小さな物だったという事を聞いた時、おどろいたという言葉では表言できないようなものを感じました。またそれが「せいぞうけん」までもがれきをまき上げる上はう気流を作り、それがキノコ雲になるのだと知った時にはみぶるいをしました。

そしてもう一つおいた感情が哀みです。今日来てくれた先生のお父さんが哀れに思えたのです。最後の映像で話しているその人は、今でもまだその日にとりのこされているような顔をしていました。僕にはその人が話している一言一言が思い出すではなく、忘れることができないのだと思います。持った肉がひきさがれた「グチッ、グチッ」というのを声に出すとも、数秒前に聞いた音を言っているようでした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕には、あの人の声か悲しみの声や涙だとは思
えませんでした。何か今の僕らにはわからない
物をおそれているようでした。死んでしまった
今ではわからない何かからおびえているよう
でした。戦争をしていない僕らがおそれるのは死
ですが、元兵隊だ、たあの人が死をおそれて
いるようには思えませんでした。だから、戦争を
体験した日から、死ぬまで死よりおそろしい
物におびえさづけたあの人が哀れに思えた
のです。

そこまで考えてもう一つ思ったことは、死よ
りに悪いことは生きている時にあると思
いました。死は一瞬で終わりますが、生
きている間の苦しみは一瞬では終わ
りません。だから生きている僕たちは、あ
れと一緒に死より大きな苦みと向かい合
わなければいけないと思いました。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を聞いて、
悲しみを感^{かん}じました。原爆先生のお父さんが
被害にあった人々を助けられなかった。その気持ちを
カ×ラで言^いてくれて、なみだが出るほどの後悔したと思^{おも}い
ました。だけど、助ける気持ち、助けたい気持ちが強く
伝わりました。初めて知^しったことがありました。それは
ほとんどのこと^{こと}です。私は戦争とか、体験したことが
ないから、原爆先生の言^いてくれたほとんどがびっくり
するほど、怖^{こわ}く、被害にあった人々の生きたかた^{かた}の気持ち^{気持ち}が
とてもわかりました。

原爆先生たちは、私たちのように、戦争とかを知らな
い人達に教^{おし}えていると思うから、私も体験者^{たいけんしや}では
ないけれど、原爆先生のおかげで、いろんなことが
知^しれたので、私も教^{おし}えてくれたことを生かして
教^{おし}えてみたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「きれいすぎる。」原爆先生のお父さんである、池田義三さんが、こうおっしゃったと聞き、それが、私の心の中で響き、とても心に残りました。8月6日午前8時15分からの9日間。スクリーンに映る当時の映像や写真から、その時の様子が「ありありと想像することができ、今まで、何となく、遠い存在でしか無かった。戦争、そして原爆がとても身近に感じられ、あまりのおどろきと恐怖として、身震いた程でした。生きているか、死んでいるか、女か男か、その区別さえも、いや、もはや人間なのかさえも分からない中をかき分け、爆心地で、ひたすら軍部の指示にしたがい、最後の最後まで思いやりの心を持って人助けをした義三さんだからこそ、当時の現実とかけはなれたことを伝えているのだと思っただと思います。言葉には言い表さない程ひさんな有り様だった広島のことを今日学び、それを深く心に刻み、たとえ、どんなことがあっても、戦争などということが起らないようにすることを願い、そしてそんな世の中、社会にできるお力にしたいなと



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

いままて戦争のことはせんじん知らなして原爆が
 落とされた事いしか知らな。たけど今日、話を
 聞いた。あ、七、話を聞いていて引ばるとしたら手の
 皮が丸くとれたというのを想像するとしてモグロカ、七、もし
 自分がその引ばるんだ、たら多分びっくりして声もでなくなるとも
 思った。もう一つおとしいたのは原爆が
 爆発する時に表面が6000℃で中が100万℃ということ
 七、力も体中の水分がなくなるとその後くせけるというのから
 もおとしいたもし自分がその時代においてその場所にはたら、とい
 うのを考えるととても怖かった。原爆先生の話を聞けてとてもよか
 ったと思ってる。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話をきいて
原爆のおそろしさをしりました。
ぼくは、そのおそろしさをたいけんして
いよいよ「話をきいて、人はやけ
どをし、体じゅうに赤くはれ、ぶぶ
か」とけたみたいになっていることをき
き、それが何十万人もいることをは
なしてくれました。たった原爆という
物でいろいろな人や生物が死に、死亡
者は約40%とというとても高い数字
がでてとてもビックリして、5人に2人
が死んでしまったききました。原爆
のことにかんしてはとてもばんきょうにな
りましたが、やはりきもちとしては話をき
いてすこしかなしくなりました。またき
かいかがあればきてください。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの特別授業を受けて、
とても早く原爆の事を知りました。
また、原爆(リトルボーイ)は、ウランという
材料が使われていて、60kgあった
ウランのうち1kg分しか爆発してないのに
広島をかいぬつ自々な(よ)うた(川)追い
こみました。ぼくは逆に、1kg分しか
爆発しなくて良かったと思います。
そして、リトルボーイの爆発によって、
水に逃げた人が、その水が爆発の熱
で、どうして、やけどしたと聞いて、
ほんだけ強力なんだ!と思いました。
このような事を二度と起きないように、
絶対に戦争よくないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/9

ありがとうございました。
 本日の原爆先生の授業を受け、心に残
 ったことがいくつかありまた初めてした
 ことがいくつかありました。
 一番心に残ったのは、最後のVTRで
 見た。池田さんの思いが心のなかでドク
 ドクと鳴っていました。そのとき、どうもわ
 かったと思いました。思い出すとおぼろ
 げな記憶がこぼれ出し、きよいでみてた
 ったわたしまでその世界に入ったように感じま
 した。肉がばらばらで、わけこげで、こ
 はると、肉がすけたりにおいをかいた
 だけてはくなど、のことがあつたのはわたしたち
 には、そろそろのつがぬいことだと思
 いました。初めてしたことは、1945年昭
 和20年に、ゴルフボール1つと紙の1枚の
 おもちゃしかないのに、こんな人が死な
 まで、のことがあつるのは、初めてしりまし
 た。70000人のあつたついであつた人は、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

じいちゃんにっらいか、私は、どうもつづからただ
 っついで感じます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 10

今回は、私たちに、原爆先生として、お話してくださ
て、ありがとうございました。

原爆は、人間の多くの尊い命を一瞬にしてうばい
ます。被害などは、教科書で学んでいましたが、くわし
いことは、分かっていませんでした。今日、池田さんの話、そ
して、池田さんのお父さんの日記をもとにつくられた
本を通して、戦争の残こくさ、おそろしさが分かりまは
す。私は、戦争を体験したことはありませんが、池田さんの話を
聞いているうちに、自分もそこにいるかのように、情景がうかび
あがってきました。体中全体が焼け、目をみみりき、手を
前にして、「助けて、助けて」と言っています。私は想像する
だけで鳥肌がたちました。池田さんのお父さんは、私たちの
ような戦争を知らない若者たちに、思い出したくもないくらい
過去を話してくれました。私たちは、池田さんのように、
このことをどんどん伝えていきます。そして、もう二度と戦
争をしないように努力をしたいです。今日は貴重な体験
ができました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の授業を受けよかったです。広島島に投下されたリトルボーイについて、くわしくお話を聞かせてください。重さや長さなど、なぜ広島島に投下されたのかまでおしえていただき、ありがとうございました。

先生の話しを、これからさき、どんなに思い出したくなくても、伝えていきたいです。今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/19

東雲小学校に来て授業をしていただき、ありがとうございます。
 ございます。ぼくが授業を聞いて思ったことは卓球
 のボール位のラケットでも広島町を破壊してしま
 うことにびっくりしました。人が熱線に当たると水分が
 蒸発して炭のかたまりになってしまうことにおどろいた。
 衝撃波の速さが音の速さより速いことにおどろいた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日、私は原爆のこわさをより知った。私はあまり原爆については知らない。でも、今日の原爆先生の話を聞いて興味が変わった。私がおどろいたことは、「原爆」でろっのことができるということだ。私はもともと、原爆といったら、原爆だとおもっていた。だから、原爆で熱線、衝撃波、放射線ができるとして、とてもビックリした。それ以外でも、ゴルフボールの大きさの1kgで広島全体をはいにしてしまったことや、死亡率が約40%（5人に2人）が亡くなったということにもおどろいた。そして私が一番おどろいたことは、原爆を投下に条件があることだった。私は今まで「はい、はいと、原爆をおとしているのだ」とおもっていたため、投下の条件があることにビックリした。だが、なぜ都市が空しくいあわなかつたということはいりかいてきた。私はこの授業で知らなかつた原爆のことをたくさん知ることができた。でも、すべてではないと思う。だから、これから自分でも調べていきたいとおもう。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/9

私は、原爆先生の特別授業を受講して、今の時代とはた"いふ"ちがうなあと思いました。爆弾でこんなに人々が亡くなってしまおうとは思いませんでした。「原子爆弾投下都市の条件」におどろきました。なぜ"原子爆弾投下都市の条件"なんてあるんだ？私は"問"を持ちました。あと、原子爆弾投下の候補"になった都市が、本当は京都だ"と知りました。京都には、重要な文化材が"たくさんあることで、外されたら"うです。話を聞いている時に、爆弾で被害を受けた人々を助ける、"と言う話があった"のですが、その話を聞いて"気がしました。最後に、ビデオを見たのですが、途中話し手が話せなくなっていて、それほど"つらいんだ"な、"と思いました。今の時代には無い原子爆弾投下についての話を聞いて、考えることが"大切なんだ"な、"と思いました。昔の時代の話を、"とでもくわしく知ることが出来て良かった"です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の90分の授業を通して、すごく心に残ったことがたくさんあります。

1つ目は、「原爆のすごさ」です。

大きさはB29の中でも、広島に投下されたものは、ソフトボールほどの小さなものでした。そんな小さなものでも、町じゅうが焼けた、死者も出てしまうほどの大事件になってしまうのが、すごいと思いました。原爆は、実際に投下された10倍ほどの結果がでてしまうということなので、こわいと思いました。

2つ目は、「原爆の存在」です。

今まで、「怖い」としか思ったことがなかったのですが、今日の授業を聞いて、亡くなった池田義三さんも、涙を流しながらも一生けんめい語っているのを見て、本当にざんこくで、かたじけなくて、いやな経験をされたけれど、それでも伝えたいという思いがすごく伝わってきました。

義三さんが歴史の博物館を見て、「きれいすぎる」といったのも、博物館でも十分伝わるのに、あどろきました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、今日 原爆先生の話を書き思、た
 ことはたくさんあります。その中で書き思、た
 ことを 個、書き思、たいです。一番書き思、たい
 のはわからないかもしれないけどなぜ原爆を
 日本に落したかです。日本だけでなく他の国もどう
 にか落した国にはいいあつたのにな、とぼく
 は、思、たからです。もう一つはなぜ原爆を落す
 実験をしたかです。もう一つはなぜ人間が
 いるところで、原爆の実験をしたのかです。
 もしもとしたら無人島などではいい、
 の、とぼく思、たからです。そしてなぜこの
 地球にはなぜ、ぶ、きなどという危
 けんな 道具があるかです。なぜ最後にこれを書き思、
 たかというところ、ぶ、きなどがなければ広島原爆もなく
 平和にす、こ、せたと思、たからです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

11/9

本日は原爆についての特別授業に、原爆先生として来ていただき、ありがとうございました。

私は原爆先生こと池田真徳さんの父親の故池田義三さんの話が心に残りました。義三さんは、被爆した人に手を差し伸べたと聞きましたが、私ならばすぐにでも逃げ出したいという気持ちに駆られて、走り出してしまうと思います。しかし、軍からの命令をまっとうし、部下の方々に冷静に指示でき、素晴らしい班長だと思っています。

また、私は原子爆弾の落下候補となった都市が6つもあったということも初めて知りました。そこで、京都は占領した時の日本人の感情も考慮して狙わなかったと知りました。しかし、どの都市に原子爆弾を落としても、悲しむ人がいるということは変わりないと私は考えます。

私は、今日の原爆先生の話を一生忘れないと思います。そして、原子爆弾の恐怖を忘れないことを祈り、一人でも多くの人々に原子爆弾の恐怖を教えようと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日は、原爆のことをくわしく教えてくれて、ありがとうございました。いろいろなことが知れました。原子爆弾「リトルボーイ」のことや、原爆が投下されたときの風景や入の様子、「エノラゲイ」についてなど、たくさん心に残っています。「リトルボーイ」は回転しながらものすごい速さで落ちたこと、投下されたとき、辺りにいた人は体中に火が燃えていたから、川に入って冷やそうとして、でも、一気に入ったから熱すぎて死んでしまった人がいることなど初めて知ったことがたくさんあります。

だから私は、戦争はいけないと改めて思いました。戦争をしていたから、広島や長崎に原爆が投下され、何十万人もの死者がでてしまったので、もう戦争は二度としてはいけないと思いました。戦争をしてはいけないということをいろいろな人に伝えていくことが大切だと思いました。そして、も、と先の時代もずっと戦争をしないでいけば、日本は平和になると思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

戦争のことを話してもらって、とても怖かったです。もし自分がその場にいたらということを考えると、戦争をして原爆の投下、それを絶対にくり返してはいけなしいんだと思いました。最後に池田義三さんがビデオメッセージで涙を流しているのを見て自分が思い出すと辛いことを僕らのために、二度と戦争がおきないために、言ってくれた義三さんはすごいと思いました。その義三さんのために僕たちは二度と戦争がおこらない世の中をつくらなければいけないと思いました。そして、この戦争を僕達の次の世代で伝えていかなければならないのだと思いました。そして、貴重な戦争の話池田真徳先生ありがとうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆のおそろしさを教えてくださりありがとうございました。わたしはいままで原爆のことがぜんぜん知りませんでした。話を聞いていてびっくりしたことは、金しんがやりとで、ひふかががはが半ちでトラックにあり、とうとうとひふからきれて手ははれれて地面におちる、そのかんじでゾーとうとうと書いてびっくりしました。あと太陽のひょう面の温度は6000℃なのに原爆はスカイツリーよりちょっと下で7000℃になっていて、ふつうに家があるところは3000℃でほとんどの物がやられてしまい、人間の水分がいきまにしょう発してなくなってしまう。そのあとはすみのかたまりになってしまう。あとウラニウム60kgのねんりょうの内、たのたの1kgで被爆者数24万人、死者数14万人にも死者がでてこわいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原火暴先生(池田眞徳)の言
を聞いて一つ思ったことがあります
それは、単戈争は糸色丈寸にやてはいけ
ないと思います。原子火暴弓単と戦争
につながてると思います。単戈争がおき、
単戈い、負けて、くくしゅうをしたり、月券たら
糸売けて、攻撃をやるうと考えそれで原子
火暴弓単がおとされました。そして、原火暴先生
の父親、池田義三さんがうらい思いに
あつたと思ひます。ぼくは、それを思て、もし
原子火暴弓単がおとされなかつたうと考ま
した。原火暴先生はどう思ひますか。
ぼくは、平木ヲちんらしか来たと思ひます。
池田義三さんがうらい思いにならなくて
すんだと思ひます。けどそれは、分えられな
いから、池田眞徳先生が死んでしま、た池田義
三さんのうらごんまで生きてあげたぼくは、
いいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

学校の授業で「平和について考えよう」を学習して改めて学んだ戦争や平和や原爆についてくわしくはそのときは分からなかった。でも今日、11月9日(月)に原爆先生という先生がきてくれて原爆について教えてもらってうれしいけれどすこし悲しい気持ちになった。自分は東京に住んでいるけど被害を受けた広島の人たちはどれだけつらかったのかこの原爆先生に教えてもらった。原爆を受けた広島県だけでなくほかにも原爆の候補になったのは、小倉、長崎、横浜、新潟、京都が候補になった。原爆投下都市条件は直径5kmを超える都市、平野であること、空襲がなかった都市が大きな条件だった。その中で三つの都市が選ばれて広島、小倉、長崎の三つ。そして午前8時15分に広島におちた。その原爆は広島市民の5人に2人が死者になってしまう。それを聞いてぼくはとても悲しくなってきた。だから



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ほくは原爆を知りたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の授業を受講して、思ったこと
 (感想)なぜ原子爆弾を投下してまで人を殺すのが
 不思議に思いました。池田義三さん達、原子爆弾で
 亡くなった方がかわいそうです。なぜかという、義三さんは
 死者のやけどした顔うで、死者などを見なくてはいけぬ
 やけどした人が、「たあててください、などを言ってトラックに乗っ
 けようとしてうでを引いたら、皮がはがれるしゃんかんを
 たいけんしたからです。死者は、トラックに乗っけてもえ
 ながら、おけどをした人、うでを引っぱってもらったら、
 うでの皮がはがれた人、悲しみ、苦しみ、痛みを、い
 はり感じた人がいるからであ。でも義三さんは、嬉
 みだをよかしてもけはばくのことをしてよいにつたえる
 ことはいいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、原爆が落とされた都市は、本当に不幸だなと思いました。いろいろな都市がある中で、3つの条件がそろっている都市に落とす候補になる事を初めて知りました。そして、義三さん達は、本当にかわいそうです。なぜなら、被災者のやけどした顔や、はがれた肉などの人を顔を残念ながら見ないといけないうからです。そして立ち向かい、遺体を採集し出さないといけないうのも悲しい事です。その事は、最後の動画を見て思いました。ぼくは、その事を想像するだけでいやな気持ちになります。ぼくが、心に残ったのは、ゴルフボールの大きさの物で広島町が焼けてしまう事です。たかがゴルフボールの大きさでも本当に強いんですよねと思いました。ぼくは、広島原爆はむごい被害だったと聞いた事は、何度もあります。でも70%の火が被爆し、40%の人が死亡して40%中の2万人は1人1人に亡くなってしまう事は本当にびっくりしました。今後、このような被害は本当に無くなってほしい。何百年後の人もこの授業を受けてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日はわざわざ東雲小学校
に来てくださってありがとう
うございませぬ。ぼくは話を聞
いていた時、きも、グロという感情
は出てこないで、言葉にできない
無惨さや戦争の愚かさを感じ
ました。きれいすぎるという言葉
と聞いた時これ以上なのか、と
心を通ぬました。ぼくたちは戦争を
体験してもないし、したくもありません。なの
で前にも述べたように無惨という言葉が
できているのかも分かりません。しかし
一つ言えることは、一しゅんで人が死ぬ、
苦しみなから息を引き取る、戦争を、
決してしてはいけないという事
です。今回はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆について知り、自分が想像していたものよりひどいこととおどろきました。あんなことが昔の日本であったのは信じられないような気がします。それほど昔でもないのかもしれないなあ、と思いました。あの一瞬で何が起きたのかも分からずに亡くなった人達と、それを見て、戦争のおそろしさを知った人達の思いは、やはり私にはどこか遠いものであって、理解はできません。でも、戦争と原爆がもたらすものを私は知り、「戦争はいけない」という言葉の意味がすこし分かった気がしました。思い出だけでつらい戦争を後世に伝えることが、戦争のない未来を目指すことにつながるのだと思います。そして、最もおどろいたのは、その原爆の一千倍のいカを持ったものを世界は持っていることです。原爆でもあまり想像できないのに、その一千倍といったら本当に想像できません。でも現在にあるのは事実です。だから、その兵器を使わなくてすむようにするには、一人一人が平和を望むことが大切だと思うので、私は平和を望みたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原火暴のことをすこししか知り
ませんでした。でも今日、先生の話を
きいて、すごくよく知った気持ちに
なりました。原火暴はすごくおそろし
いことだと、あらためて、思いました。
全身にやけどをし、それがもまた「生ま
ているので、痛さかはんはなかつたと思
います。バットして聞いていました。
いっしょにいてまわいの命、自分の命
をうばってしまふ原火暴はほんとうに
ざんこくだとおもいます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今まで「原爆」と聞いたら、たくさんの人たちが
亡くなったしか思いませんでした。でも、原爆というのは
人の命をうばうだけでなく、町も無くしてしまうという
事が分かりました。その中でも原爆後の人々の様子が聞
くだけで想像してしまいました。

原爆後の人々が「助けを」として手をつかんで上げようと
した時に、ひふのかわかやげとのせいでむけてしまう。助けた
くても助けられない人がたくさんいる。ものすごくつらいとも思
いました。たくさんの人を苦しめた原爆「リトルボーイ」。

このリトルボーイが爆発すると、熱線、衝撃波、放射
線のひがいがおこりました。熱線は、熱で人間の中の水
分が蒸発していっしょにすみのかたにまりになってしまう。衝撃
波は音速350km/秒でやって来る。そしてなんとか生きのこって
いても放射線で原爆病で命を落してしまう人がいました。

原爆は命も未来もすべてうばってしまうものだと分かりま
した。だからこそみんなに伝えていかなければならない
ものだと思います。今日は日本で大切、忘れてはいけない
原爆について教えていたについてありがとうございます。
ごいります。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

「ぼくは今回の原爆先生の授業を聞き
内容を3つにまとめました。

〈受講前としてまとめたこと〉

アメリカは日本より高いスキルを持っている。また
リトルボイという爆弾をおとしアメリカの強さを
見せつけたこととしました。ちなみにアメリカはリトルボイ
を広島長崎に投げました。そのときぐら~~い~~^いせ~~いた~~^{いた}わ~~ら~~^らな~~か~~^から~~な~~^ない

「原爆先生の父親の人がぐんたりに入っており第
二班班長として広島に行っていました。リトルボイ
が落ちたとモリゲンバト~~い~~^いてとおはなれた場所た~~た~~^た
のひなととかたすかた~~た~~^たといっていました。

「それ~~が~~^が荷~~目~~^目かた~~た~~^たてて火た~~た~~^たか~~ま~~^ましたはと
た~~た~~^たか~~た~~^たが~~た~~^たこ~~た~~^たた~~た~~^たと~~た~~^たころ~~た~~^たで~~た~~^た死~~た~~^たたい~~た~~^たを~~た~~^たし~~た~~^たう~~た~~^たま~~た~~^たく~~た~~^たし~~た~~^た
とそれ~~で~~^でモ~~た~~^たリ~~た~~^た荷~~目~~^目か~~た~~^たつ~~た~~^たた~~た~~^たと~~た~~^たう~~た~~^たの~~た~~^たで~~た~~^たす。

「それ以外にもいろいろなことを言われたのでお
ぼくにとってほとほとモ~~た~~^たす~~た~~^たか~~た~~^たしいことな~~た~~^たので~~た~~^た言~~た~~^たい~~た~~^たは
せんか。原爆先生のあ~~た~~^たお~~た~~^た父~~た~~^たせん~~た~~^たは~~た~~^たこ~~た~~^たう~~た~~^たか~~た~~^たつ~~た~~^た
いま~~た~~^た無~~た~~^たい~~た~~^たに~~た~~^た帰~~た~~^たて~~た~~^たれた~~た~~^たこと~~た~~^たを~~た~~^たせ~~た~~^たきた~~た~~^たと思~~た~~^たっ~~た~~^たて~~た~~^たま~~た~~^たす。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今日初めて原爆の怖さを知りました。
それは、いつ原爆が落ちるのかわからないことです。次に、
何をやるのかわからないこと、私達もわからない、というとき
にやられたのはキツイと思いました。いやキツイなど
という言葉では表せないと思いました。
上空6000m±地点で7000℃ということが信じられませんでした
7000℃といえば太陽の熱よりも熱く、絶えられない熱さだ
と思いました。それに中心部分は100万℃。こんな熱さの中で
死ぬのなら、生きていなければ良かったと思う人が多
いかもしれないのではないかと考えました。
また、B29の「リトルボーイ」長さは3.12m・約5tという
強靱な重さ kg に表したとしたら500kgとて重く落下す
のが速い衝撃波の速さ 500m/秒 音の速さより250m/秒も
速い。だから、死亡率40%
今日は軽小で原爆の大事な話をして下さり有り難う
ございました。これからは原爆者団市の候補の
理由を明らかに。他にも候補都市はあったのか
ということも調べて、みんなに伝えていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆先生の特別授業をして頂き、
ありがとうございました。8月6日、広島に、原爆が、落し
され、いっしょんでたくさんの方がなくなり、原爆先生
のお父さんと、8人の軍の人には、トラックで、江田島から、
いどうして()る時に、ひるが、ドロドロに、ひるが、とけ、手
はななめにして、トラックの荷台に乗ろうとして、手を、
ひらいて、乗せてあげようとする、ひるが、とれてしまうよう
なく()ドロドロなのを聞いて、原子爆弾の強さがよく
分かりました。

二つ目の原爆は、「リトルボーイ」という名で、おぼ
わられたのは、広島、小倉、長山、奇、横兵、新湯、京都
で、原爆を落とす条件は、直径5kmをこえる平野であ
ること、空襲がなかったという条件で、京都は、山がたくさん
あり、おぼわられたが、京都には、寺などの日本の文化があつた
ため、日本人のアメリカへの感情がわるくなるから、二つ
目の原子爆弾「リトルボーイ」は広島に落とされました。

二つ目の原子爆弾「リトルボーイ」の温度は、
上空、600mで、100万℃で、太陽の温度は、
だから、月の温度より、「リトルボーイ」のほうがあ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今日、原爆についてお話を聞いて、戦争への見方が変わりました。

戦争はどんなに資料があっても私達には、その悲しさ、苦しさ、悲しさなどは分かりません。「原爆」と聞いて、思いうかぶのは、広島島の「原爆ドーム」でした。原爆ドームの姿を見て、「こんなにも、変わり過ぎてしまうんだ」と思いました。とてもカドんじょうそうな建物もふっとんでしまうなんて、おそろしいと思いましたがビデオの中にある、ビルの中で階段ですわっていた人が消えて、かけみたいになっていた、という所で、人を一瞬にして消してしまう、そんなものを落としてものすごく悲しかったと思いました。体験した話も聞いて、「人間じゃ無い、や「かわか」は「か」れおちている」などと聞いて涙が出そうになりました。中でも、はたかいで遺体が見かった、と聞き、生きたかった、けど、亡くなった…。命の大切さも学びました。

原子爆弾については一言で言うと、「おそろしい」としか言葉が出てきません。「リトルボーイ」。「リトルボーイ」たったの1つだけで35万の人口のうち、14万人の命がうば



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、知らなかったこと・知っていたこと・知らないこと
と、きいたことがあること、などがたくさんありました。

私は、原爆についての話をきいて、戦争、アヤ、ほ、怖いな。
今の時代に生まれてよかったな、と思いました。原子爆
弾が落とされたときにいた人々は、すごく苦しい思いをし
ていたんだらうな、か、きいてうたな、と思いました。

9632mの高さからリトルボーイを投下したというのほび
くりしました。あとエラ・ナイというのは母の名前という
ことは初めて知りました。また、今日見たゼテオ下人の
黒いかほのしみだけが残ったというのも本当だったのだ。あ
い、なんでも黒いかほのしみだけが残ったんだらうと不思議
に思いました。

それ以外にも一番びっくりし、す、い、な、と思、た、のは、高さ
150mの位置にいた人でも助かったということ。しかも、電話
局の中の地下のトイレの中にいたというの、か、び、り、し、ま、し、た。

私は何の理由で、原子爆弾を落とされたのか、不思議に思
います。今日、きいた話でも、また、知らないことが少しあるかも
しれないので、調べてみたいのです。今日は原爆について教えてく
ださい、ありがとうございます。すごく勉強になりました!!



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆のことについてお教えて下さり、ありがとうございます
 ました。私は、あらためて、原爆のつらさ、印象が、分かりました。た
 から、私たちは今を生きている。そう思いました。その中でも、印象的
 のことしたのは、たすけようとすけど、たすけられないこと、手を、か
 そうとしても、ひがとわてしまう。ざんこくぎ、は、一番心への
 ました。たすけろーという声を聞いたら、私は助けたいこ
 とは絶対あほ。絶対たすけたくなります。助けない人など、いた
 おかしいと思えます。その当時の人には、分からない、私がいっぱ
 あり、それをくわしく調べたいと思いました。

私は、原爆ドームに行つたことがあります。池田先生お父
 さんは、「きれいだった」と言つた、というふうに言てくれました。私も一回
 しか行ったことがないので、とてもはつとまは、「当時大変だったんだ
 」「心がしめつけられようでした。原爆ドームのある、ちかの川で
 は、川の底に人の死体がある、といわれているけれど、その当時は、
 その川に水が、あしかなからなかった」と思いました。私はその人たちの
 気持ちも分かります。

アメリカ軍はなぜ、広島、小倉、長崎を目標にばねをおいてお
 か、そんなに広島、長崎が、にくかったのか、私たちがうらみでも
 あつたのか？私は、なぜうらんだかもしれないのか？それにつ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、今日3.4時間目に、池田貞徳さんのお父さんの話しを聞きました。そのお父さん池田義三さんという方は、17才で陸軍になった人のお話しです。

平成の前の昭和20年8月6日午前8時15分、広島県中にある相生橋から南東に200mの位置に、1発目の原子爆弾が投下された。この原子爆弾のえいきょうで広島市の人エ35万人の内、24万人が被爆して14万人に死んだ。死亡率は、40%にもなり、5人に2人の割合で死んだ。生き残った人の口からも無さんなことを言わした。

広島に投下された原爆リトルボーイは、長さ3.12m、重さ約5tにもなる、大きな物である。このリトルボーイは、高度9632mから投下し、目的の場所から約6kmもはなれているところからおとしました。この爆発の中心温度は100万℃、ひょう面温度は、700℃もある。地上とは600mもはなれているが3000℃もある。

僕はこの話しで原爆に対する気持ちが変わりました。この原爆で死んだ人が何人もいる。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

これからはPCを使うとき時間があたら、リトルボーイのこともっとよく知りました。東雲小学校に来てくれ、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、今まで考えていた僕なりの原子爆弾と今日の特別授業の原子爆弾はかなり違う物でした。八月六日、広島に原子爆弾が落とされ広島市人口三五万人のうち、死者数十四万人という想像を絶する出来事は誰も忘れられません。あの原子爆弾でせくな、た人々はあの日、どうしてたのでしょ。大きな音と一緒に一しゅんでせくな、た人々、あのきょうふはもうよみがえらしてはならないと思いました。

広島に落とされた「リトルボーイ」、九千六百三十メートルの高さから回転しながら上空六百メートルで爆発し、たくさんの命をうばった原子爆弾の燃料ウランの爆発したのはたったの1kgでした。このウランの爆発する部分がもっと大きければどんだけ人がせくなるのでしょ。

僕はアメリカはなぜ、たくさんの人が死ぬと分か、ていて原子爆弾を落としたのか分かりません。だから原子爆弾はもう落としてはいけないと世界に広めていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、実際に起きた原爆の話聞いて、原爆についてもっと知りたいと思いました。原爆の話は、当時体験した池田義三さんの話や写真で分かりやすかったです。池田義三さんの話を聞いて、もっと多くの学校でも原爆先生の特別授業をやしてほしいと思いました。当時、私の想像できないほど、死亡した人や、体をやけどして助けを求める人々の姿はすごいものだったのだと思います。35万人だった広島市の人口は、原爆で、被爆者数は24万人、死者数14万人という、人口のほとんど数の人を被爆・死亡させた「リトルボーイ」の燃えた量は、ゴルフボール1個分ほどの1kgと聞き、とてもおどろきました。

私はインターネットで調べて原爆を分かっていると思っていました。しかし今日の特別授業では、私の知らなかったことがたくさん分かりました。例えば約600mの上空でほぼ、東京スカイツリーと同じ高さで、一瞬のうちに体中の水分が蒸発したことなどを初めて知りました。

また、原爆投下都市の条件や、候補になった都市、一番、当時の学者がすすめた京都をなぜやらなかったのかなどを知ることができ、知らないことをもっと知りたいと思いました。

私がかもっと知りたいことは原爆を落とした国について知りたいと興味をもちました。

今回は東雲小学校に来て頂きありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は、今日の原爆についての話を聞いて、
今までよりも、もっとくわしく、知りました。原爆先生
の父、池田義三さんが体験した、広島のかくれき
をかたづけ、人々を助けたことが今も頭の中に浮かび
ます。

原爆を投下する都市として、京都が上げられ
ていたことに、おどろきました。しかし、京都には、日本に
とって重要な文化財があり、それを原子爆弾で燃や
すのは、いけない。なにと、考えた人はとても日本を分か
てくれる人のたいなと思いました。

広島に原子爆弾を投下される前の人々は、まさか
そんなことにはなるとは思わなかったと思います。広島に
リトル・ボーイの中の7kgが、なんしょうしても、
あんなに大きなことになり、この映像をみて分かりま
した。

今日の話を聞き、原爆について、もっとくわしく
調べたいです。今日は、原爆について、今までの
知識より、もっとくわしく分かりました。

今日は、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆はとてもこわい出来事。そうゆうことだけずっと
思っていました。でも、今日原爆先生が来て、思っていること
がかわりました。私はいつも原爆は、とてもこわいこと、
そういうことしか、思っていませんでした。でも今日の言葉で
原爆は、私か思っている何千倍も、さくくな出来事というこ
とがあらためて分かりました。今日の映像の中で原爆がおとされ、
いっしょに人の姿がなくなった時、体がこおりました。

広島に投下された原爆「トルボー」その重さは約5t。
原爆は、太陽よりさかにあつく、地上600mにたつた時に
死んでしまった人がいて、その時の爆弾の外周は7000Cにも
なっていたことか分かり、想像しただけでもとてもこわいの、
それが目の前にあつても、どれだけこわいことだろうと私は思っ
ました。爆弾が落ちてきたと分かっていてもどうすることもでき
ない、ただただ死をきったけという人もたぶん、爆弾が
落ちてきたとき思った人がいるかと私は思います。その人たちは、でい
け、悲しくて、こわい思いをしたけど今の私達には、
想像も出きません。

実際にその時に体験した池田義三さんの約5分間のビデオ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は、この日に学ぶまで、原爆とは、単なる戦争で使われた爆弾だと思っていました。11月10日、東雲小の体育館で映像と共に貴重な話を聞かせて頂きました。この90分間で、今までの原爆に対する考えが変わり、改めて恐い兵器だと感じました。

90分間の特別授業の内、前半は経験者の実際の話をじっくりと聞かせて頂き、良い機会でした。8月6日の広島、原爆が落とされ、一瞬にして多くの人々が死に至ったという事、その後の救出、始末、一度考えれば、恐い気持ちになる事でした。また、それに併せて原子爆弾の強さ、熱線、衝撃波、放射線がまとまった熱さを、経験していなくても、想像以上に心で感じました。

後半は、原子爆弾についてでした。熱の中心が100万℃表面でも7000℃、太陽よりも熱いものというものを、人工的に造る事ができるということに非常に驚きました。また、それ以上に、3000℃、7000℃、100万℃という想像ですら出来ない温度に、恐しさを感じました。その他にも、手足の震えが止まらない様な事(おかり)でした。

この日、貴重な経験をして、大変良い機会であったと思います。原爆に対する考え方も変わり、初めて聞く事は



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、今日初めて原爆のことについてくわしく知りました。原爆のいりよくは、人が消えてしまったり、とけてしまったりするくらい強いもののだけど、日本の広島と長崎には、落ちせしめたもので、もう日本には、おちてほしくありません。

原爆は、アメリカがおとして、しかも2回も日本に落としているからいくら戦争とかでも、アメリカにこうげきしている人たちに反げきして殺してしまうのなどは、違って、何にもせてない人を殺したり傷つけたりするのは、おかしいと思いました。

今日の、特別授業では、六日に昭和三十三宮で、戦後と戦中のことを見たりしたときと違ったことを知れたし、戦争中に本当に兵士として戦いに行ったりして、戦争中の中に生きていた人の話を初めて聞いたので、本当だと信じました。

原爆先生の授業は、戦争という言葉がなかったけど、なんか戦争のころだとたいたい分かりました。今日は、映ろうや、分からなそうなことを自分でやって教



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日、原爆先生にお話を聞いてまた画像をみなからいろいろな事を思いました。お話の内容で「7000歳の少年」とゆう題名で原爆先生のお父さんの日記から小説書きそ^きれとともにお話をしてくれました。

初めで知った事はアメリカはまずどこに原子爆弾をおくすか決めた時 1つ目は広島 2つ目は小倉 3つ目は長崎でほかにも横浜新潟、京都か入っていたという所と、おとす場所には3つのかきりがあったという所です。たからといへばせ^せ広島などなのかと思いました。私は、後半の45分間の中での原爆先生のお話とえいぞうでおどろいたりする事がたくさんありました。

広島に「リトルボーイ」という原子爆弾がおとさぬ多くの人がかたくなってしまう、また「リトルボーイ」のあさは太陽(は60000)よりもあつく7000歳であるというのにおどろきました。またえいぞうを見た時原爆先生がいっていった事が原子爆弾がおちていっしょに人が消えてしまう所をみておどろきました。あまりのあさでいっしょにきえてしまい、いたさもくるしさもかんいらぬかに、死んでしまうという所に私は人々みんなかかぬいぞうだと思いました。今ではあんまりかんかえらぬような事がたくさんあり

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

私はもうそういった事は世界中でなくなればいいなと強く感じました。今日はいろいろな事をおしえてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の授業の前にある程度原爆について調べていて、そしてその分ある程度原爆について知っていたと思っていました。しかし、先生の授業は想像を絶しました。

まず、言っていることを耳には入れているのですが、実感がありません。広島という一つの都市、そこにいた人々をいっしょに破壊できる原爆の威力、毎秒500mという衝撃波の速さ、7000℃という発光体の外周の温度、これらを平和に見たことのないぼくらには理解できません。

しかし、気持ちを想像することはできます。被爆して体が熱くなり、死んでいった人々は苦しかたでしょう。目の前で人が消えた人はこたえたでしょう。そして、池田三三のような目の前で苦しむ人を救えなかった人は悔しかったでしょう。原爆によって、決してプラスではなないいろいろな気持ちが生まれたと思います。

そして、今、生きているぼくたちは先生のように、その気持ちをつぐなうべきだと思います。ぼくが大人になったら、被爆した人のほとんどは亡くなっていると思います。その時は、今日話を聞いたぼくたちが、さうして後世に伝えなければいけません。この悲劇を知れば、同じ間違いはしないはず"です。これを続けなければ、二度と原爆は落とされな"はず"です。そのためにもっと被爆者の気持ちを考えたいです。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日3、4時間目のときに原爆先生の特別授業を受けました。このお話は原爆先生のお父さんの話して、当時17才で陸軍に属した池田義三さんがお仕事で近くにおいて昭和20年8月6日午前8時15分「原子爆弾」が投下された。広島市にいた人たちは35万人-1人に対して死者14万人被爆者24万人を出した。

広島市民を苦しめた原爆の名前は「リトル ボーイ」という名前だった。リトルボーイは312メートル5トンのものだった。リトルボーイには火薬などが入っているわけじゃない。ウランというものを使っている。ウランの重さは100キログラムで原爆先生はなんとゴルフボールぐらいの大きさといっていました。それがなんと60個も入ったものがリトルボーイです。原爆の落とされた中心部は100万度といっていました。ぼくはこの熱さがどうしてできません。

なぜこんなことを原爆先生はなぜ伝えてきたのかを考えると世間のお父さんの気持ちを伝えたいと思っ伝えてきたと思っました。だからぼくもリトルボーイのことなどをよくわしく言聞いて大人になった子どもたちや自分の子どもにも伝えていきたいです。今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回は、私達に原爆による被害、いりよくなどを教えて下さり、ありがとうございます。原爆先生池田眞徳さんのお父さんの、貴重な話が聞けてよかったです。体験した人にしか分からない、その時の風景、思い、怖さを少しでも知る事が出来てよかったです。私は今回の特別授業を受けて、広島や長崎は①直径5kmを超える②平野であること③空襲がなかったことから、原爆を落とす場所の候補になってしまったことを知りました。原爆は後の尾のようなもので回転をおさえる、上空9000m以上から落とされ、ななめ左下の方へカーブを描きながら落ちていた事、原爆が爆発した所から600mはなれていても、3000℃の熱がおそってくる事など、様々な事を知る事が出来ました。

一番印象に残っているのは、被爆者達の体が皮ふはペロン、とはがれ落ちそうで、お湯でにたかのように赤くなっている、それよりも赤い肉も見えている。黄色い油がたれていた人であふれかえっていた事と、いっしょんで消え、影だけになってしまった人の事です。原爆のいりよくがそんなにあるとは、私は正直思いませんでした。皮ふ、やけどの痛み、当時の人はとても苦しんだと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

今日原爆の事を知り、おどろいた事もありましたが何より興味を持ちました。原爆についてはある程度知っていたつもりでしたが、なのに、こんなに興味が持てるとは思いませんでした。原爆の新しい知識を持ちました。僕が印象に残った事は原爆が落ちた音速をはるかに超える衝撃波や人の体内の水分を一秒もせずに蒸発させ、炭のようにした熱線。さらには、生き残った人を苦しめた放射線が一勢にして、広島町に降り注いだ爆で赤みがかた光は、広島の上おちか600mでひろがり、その光の外側ですえ太陽を超える7000℃。地面に当たるころでも3000℃の熱です。そんな原爆は、広島人口の約40%の人を帰らぬ人とし、させました。そんな人の面影が消えた人々は、苦しみながら息絶えたのだと、僕は思います。

「リトルボール」と名付けられた原爆はB29爆撃機「エノラゲ」に乗せられ、4000kmはなれた日本に落とされた。目標地点より6kmはなれた所から原爆いば「リトルボール」は空に姿を現した。ボールを投げた様に空に飛べた「リトルボール」は、約3m、5cmの重さで、時速300km以上の速さで落ちていた。9632mから地上の600mまで空にいた。

僕は原爆の原料の「ウラン」が $\frac{1}{60}$ 、1kgしか爆発してない事に気付く。原爆の恐ろしさを知りました。「もし、60kg全てが爆発してたら...」考えるだけでゾッとします。でも、原爆先生のおかげで、いろいろな事がありました。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

○ 私は、今日の特別授業を通して、原爆への見方が変わりました。この授業を受けるまでは「原爆は、戦争につかわれ、人々を殺し、心にきずをふやすもの」と思っていました。けれども、今日の授業を受けて、「原爆は、いやだったことも思い出すけど、それを通して、次の世代に、また次の世代にと、原爆、戦争の怖さを教え、学ぶことができる」という考えも持つことができました。

○ 私が一番心に残った話は、戦時中、原爆のせいで、体中が焼けて、痛くて早くしよちを受けたくて、「へいたいさん、へいたいさん」と言って、助けようとする、ひながはがれ落ちて、助けたくても助けられない。とても悲しいことだったと思います。そういう人々をまずつけたのは、「リトルボーイ」です。3.12、約5トンの原爆です。私が気になったのが、名前です。なぜ、「リトルボーイ」なんだということですが、日本語で小さな子、少年と言います。最初は、まったく分からなかったけど、その後の戦争の話を聞いて、ふと思いました。「小さな子、小さい原爆でも、いけは最強。小さな子まで、戦争に行かなければいけない」。私は背中がゾッとしました。

○ 揃う一つのビデオを見ました。そのビデオは、リトルボーイが落ちる映像です。原爆が落ちるまで、人々は、ふつうに、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

いつも通りにすごしていました。その時、リトルボーイが
落ちてそのしゅんかん。みんな一しゅんで消え、ベンチにすわって
いた男性は消えて、ベンチには、黒いしみが残っていました。
た。原爆先生の話では、子どもと、お母さんが手をつな
いで、楽しそうに歩いていたが、原爆が落ちたしゅんかん
で、消えてしまった。なんて悲しいことなのだろうと思った。
その理由はなにも知らずに楽しそうに歩いていたのに、

一しゅんで消えてほう。すごく悲しい気持ちになりました。

○ 私は今日、原爆先生の話を聞いて、戦争は、やばいぜったい
にしてはいけないことだと思っています。その理由は、ス々が悲
しむからです。私はこのような平和な時代に生まれてとても
幸せだ。と、あがためて思いました。今日は東雲小学本校に
来ていたとき、ありがとうございました。とても勉強に
なりました。私はあまり原爆ドームについて知らな
かったので、今日、色々な話を聞けてよかったです。
これからは、戦争や原爆ドームについてもっと言聞心た
いです。今日の言葉を、次の授業などで活かせる
いいなと思います。今日は本当に、ありがとう
ございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

11/10

今日原爆の話聞いて、戦争で落ちた原子爆弾の怖さが分かった。原子爆弾が「なんて」そんなにも怖い物かと思う。まず「爆発したら球体のようになって表面温度10000℃まで上がる」。すごい暑さになって「熱線に当たると人が100メートルで「体の水分が」ぬけてすみになってしまうなんて強力な爆弾で殺された人は、当時の広島の人15人に2人で「す」。しかも、100メートルで「死んだ」人は、2万人もいて、その放射線が「原爆病」で「苦しんだ」人もいて、なんて「広島に落ちた」のが気になりました。この原爆リトルボーイが落ちたのは広島だけじゃなくて「なんて」広島、なんだと思っていたら先生が「落ちた」には条件があって、その条件に合ったものが「広島や長崎以外にも、小倉や横浜、新潟、京都でもあって、だけど「重要な文化財がある」所は外れた」のを聞いておどろきました。この広島に落ちた原子爆弾の十倍の威力のある核爆弾があるという時はぞっとしました。自分が「生まれる何十年も前にこんな戦争があったなんて想像できません。色々な時代に生まれ、死んで「いった」人たちの中でも、戦争にまきこまれて死んで「いった」人が一番苦しかったと思います。戦争のことを語る人がいなくなり、いつか授業の内容にも出なくなり人たちの中から消えてしまうのではと思います。人間なのに人間のような姿ではない。こんな戦争は人を苦しめるだけで「聞いた」側も色々なことを感じました。今日の内容は良かったと思うので「はなと、忘れられない内容でした。今日の体験は、はなと忘れず「今後の生活に伝えていく」予定です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは今日原火暴先生の授業をきいて原子爆弾とは本当にこわいものなのだとよくわかりました。

ぼくがこの授業で「恐いものなのだと確信したものたくさんありました。なかでもいちばんしょうげきをうけたのは爆発したときの温度でした。中央部は100万℃表面は7000℃地上の温度は3000℃もの高温で太陽でも表面温度は6000℃なのに太陽より1000℃以上熱いものがスカイツリーのてっぺんでもえていそとしておびろきもがまくるしんで死んでいったのだとわかりました。

またもうひとつ最後のちいでてきた原火暴のこわさを語っている博物館で両手をななめ前にたっている人のすがたを見てぼくはおそろしいなと感じたのに池田義三さんはこんなやさしいものではなしといていたので想像していたものとはまったくちがうものなのだろうと思いました。

ぼくが今回授業をきいて思ったことは戦争は絶文才にやらないうようにしてこのはなしをもらったことをお母さんやしりあいの人たちに伝えていければ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんの日記を、聞いて、まあいい
で入隊したことにおどろきました。また成人になっ
ていないのにも関わらず、戦争に大しに関係する
ことは、ぼくにとっては考えられません。ドラム
カんに助けくれたという奇せきは、後世に残すための大切な奇せき
だったと思います。そして、経馬氏の日記で聞
きました。想像するだけでも、悲しかった事か
分かりました。原爆外落とされて、九日間、もの
すごく大変で、きびしくて、悲しいことか
分かりました。

と中にはさんだ、三分間程のビデオで、原爆は
言葉にならない程おそろしいと改めて感じました。
なせなら、原爆は、人々の毎日の生活の、喜び、おもひ、あま
うばうからです。ウラン1kgで、いっしょんにして、太陽をこ
える熱で、音速よりも速い衝撃波で、人々を苦しめる
放射線で、広島市の市民半分以上の人にえいきょうを
あたえたということに許せない気持ちか
できました。リトル
ボーイ、そう聞いたとき、「なんだ、そんな名前は」と思
いました。それ程、アメリカは、日本のことをなめていた
んじゃないかと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、今回僕達六年生に原火暴
についての特別授業をして頂き、心
からお礼申し上げます。

原爆先生の授業はどれも印象深かった
のですが、僕が一番印象に残ったのは、
原子爆弾。おわち「7000℃の少年」
です。原子爆弾の温度が太陽よりも
高い(100万℃)ということ。また、原子爆弾の影響
である「熱線」「衝撃波」「放射線」などによりキノ
コ雲が出来ることが分かりました。しかし、僕
が、その中で大七刀だと思ふことは、原子爆弾
のような、小さな爆弾で沢山の「モノ」の命
を奪うということだと思ひます。ヒッカツ。

その一瞬だけで人間は体の水分がぬけ、
炭になります。実感は沸きませんがとても恐ひです。

しかし、なぜそのような原子爆弾のような
恐ひしいものを保有するのかが、またまた、僕が原火暴について
知っているのはごく一部です。なので、もっと原爆
の恐しさを知れ、後世の世界に伝えていきたいです。



じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、今日は私達に分かりやすく原爆の事、先生のお父さまの経験などの事を話してくれてありがとうございます。私は、原爆について全然くわしくないです。でも先生のお話を聞いて、少し分かった気がします。そんな中で、一番心に残ったのは、先生のお父さまの実際に体験したこと、経験したことを本にしたもの、VTRなどです。その本に書かれている事は、今まで聞いた事も見た事も無いような事でした。私は、お話を聞きながら想像していましたが、(アッ)そんな事はできません。実際に経験した人しか分からないような事だからです。けれど、実際に原爆の映像を見せてもらって、やっと思いがつきました。見ている言葉も出さずただ見ている事かと思いませんでした。けれど、こんな映像を見られるのもありがたいと思、たので、見られて良かったと思ふ所もありました。

今日、お話を聞いていて、初めて知った事がいくつかありました。1つ目は、リトルボーイ(=ついで、2つ目は原爆の作りやすさ(=ついでなど)です。原爆は、怖くておそろしい物の前から知っていましたが、今日の特別授業を通してもっともおそろしさ、怖さが増しました。これを機に、もっと原爆(=ついで)に興味をもち、調べたくなりました。

こんな貴重な経験をさせてもらったのは、原爆先生のおかげです。今日は、本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆ドームや広島に原爆がおとされていたのも知っていました。私も、福島で生まれたので私が3年の時におきた、そして、私のたん生日まで、あと、5日の、3月の事、大しんさいがおきた放射線が近かったの、すぐ東京に行きました。8月6日の広島について私は、先生が話したように、いっしょに「死んだ人、1日後に亡くなった人、あんまり、想像ができません。いっしょに言われた7目のうがひのは、まるで「アニメの世界みたい」に、生きてく人だけでした。福島のなみえには、つなみもななく、亡くなった人はうんたないと思います。いっしょに「消えた人」は、いたみも感じてなかったと思います。なんで「死んだ」かもわからないかもしれない。当時の広島は、考へていいるよりも「ひん」な、世界が広がっているとします。

うんた、いっしょに「死んだ人」を消した「リトルボーイ」そして、「エリカ・ゲイ」。「リトルボーイ」は、重さ5tの巨大な、原爆、大きさを想像ができません。でも、重さ5tの大きな原爆を空からおとすと、どうなるかは予想ができませんでした。

経験を、今後、生きることの大切さを知りました。

周へ
たのこと
〜



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は今日体育館で原爆先生の上手なお話を聞いて、まずそっちょくに思ったことは、原爆ってやっぱり巾着いな。と思ったことです。

8月6日に広島県の中心部に原子爆弾がおとされたのがVTRを見てわかりました。とうじの広島にいた人々にはいみがあかんかったと思います。いきなり光って、いきなり人がいなくなって、いきなり物が消し飛ばされ、... そんなじょうきょうにいた人々はどんな気持ちだったんでしょう。一瞬にして消えてしまった人々はまた父や母、子どもなどにわかれを言っていないのでどんなにつらいかこれは僕にもわかりません。

以前僕たちは昭和食館という建物の中に入って戦争のことについて学びました。僕は今回の話と今現ざいもっている知しきが重なってよりこの原子爆弾についてや戦争についていっそうきょう味を持ちました。

この経馬を生き、今後の調べ学習などの時間やテレビ、新聞などにも目をつけらうべていきたいです。今日はわざわざ東雲小学校に来ていただきありがとうございます。僕は特に大きな

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ひがいかでた戦争について学びたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業で原爆の事をもっと知りたくなったし、出版した本も読みたくなりました。それに池田義三さんの戦争の時の事も知りたくなりました。義三さんは、ちょうど軍の往事で物資のちょうたつをしていた。それでトラックがおくれたから生きていられました。それでその時にちょうど原子爆弾が広島におとされて一気にたくさんの方がなくなりました。それに、やけどをした人たちを助けようとして手をのつかない皮膚がぼろぼろとむけた。それを想像しただけで鳥肌がたつきます。

ぼくは、先生の言葉を聞いていても共感できたというか感動しました。と中であつた映像も義三さんが泣いていて原爆の事も映像でありました。あんなにたくさんの方がなくなつて原子爆弾は使つてはいけない、兵士だと思つたけれどなぜ使つてしまったのかぼくは知りたかったです。

ぼくは、爆撃機に乗つていた人がどんな



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆。ぼくは原爆先生の話を聞けばそれなりに
しかりませんでした。放射能型の大きい爆弾としか思っ
ていませんでした。でも今日は先生の話で少し恐ろしい部分にも
触れましたが興味もわくことがたくさんありました。

まず恐ろしいと思ったのがやはり熱線です。
100万℃を中心とする爆発力から3000℃～7000℃の
高温を放出し人間を一瞬で消し去ることにお
どろきました。またVTRでも見たように広島市のほとんど
が建物もろとも全て吹き飛ばすことにもおどろきました。
この爆弾「リトルボーイ」のせいで被爆者24万人と死
者14万人も七なくなってしまうなんて悲しいなと思いました。

やはりこの戦争中の原爆投下は戦争や原爆の恐ろ
しさを伝えるべき出来事です。これを伝えていくためにも今
日の授業を通してまだこのことを知らない学校の子や家
族・知り合いの人にも教えてあげたいと思いました。

また今日の授業を通して原子爆弾を使うこと
が日本に限らずどの国でもなくなるよう自分で
も考えていくようころがけたいです。今回原爆
について教えていただきありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今日は、原爆先生に来ていただき、本当によかったです。最初は、こわい話をするのかと思っていました。実際に話を聞いてみると、話に興味を持ち、色々なことを調べてみたいと思いました。実際に体験している、池田さんの話を聞いているのは、少しこわかったが、今までより、もっと戦争に対する反対の気持ちや、戦争のことの興味が深まったと思います。

私は、リトルボーイの仕組みや、なぜそのような原爆を落としたのかをもっと知りたいと思いました。リトルボーイという名の爆たんは今まで聞いたこともありませんでした。だから、そのことを知れてよかったです。そして、あそこまで被害者がでる、強い爆たんだと分かっていながら、なんでアメリカは大都市に落としたのか、という理由も知りたいです。

私は、戦争に反対しています。ずっと平和で、戦争のない世界にしたいです。しかし、今も戦争をしている国はたくさんあります。いっか



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

世界平和が実現することは、たれもが
いっていると思いますが、今だにそれは
実現できていません。そのため私は、
色々な人に戦争のこわさ、平和のうれしさ
を伝え、世界中の人々全員で、平和を
築き、後の世を平和に送りたいと思いま
す。今日の特別授業は本当にために
なり、広島や爆弾のことをよく学びまし
た。今日は本当にありがとうございました。
した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕たち六年生は、軽左ステバルで「原爆」について学んだことを他学年に伝えます。今回の、原爆先生の特別授業を受けて、よりいっそう「原爆」の怖さが身にしみました。僕は、何回か、「はだしのゲン」というマンガを読んだことがあります。「はだしのゲン」に、手を前に出して歩く人かかかれました。しかし、なぜ手を前にするのかが分かりず、なやんでいました。しかし、原爆先生の今日の授業を受けて、意味が分かりました。

しかし、疑問もあきました。「なぜ、「リトルボーイ」と言われているのですか？」また、驚くこともありました。それは、「原爆」の重さが5tもあるということです。さらに、「リトルボーイ」に羽のようなものがついていて、それで「風に乗っている」ということです。

原爆先生の父さまの残した日記を持、ているということは、本当にすごいことです。今回はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

ぼくは、今日原爆先生に原子爆弾について教えてもらいました。昭和20年8月6日、8月9日に広島と長崎に原子爆弾が落とされました。それはどちらとどちらとも人間をいじめるので人の水分を取って蒸発してなくなる人が広島では死んでしまった14万人のうち2万人がいじめるにこの世をさっさとしました。

このようにして広島を落とされた原子爆弾、リトルボーイといふ約3000kgの暑さでわかした核人がいたそうであるそれをいかに原爆先生の父池田義三さんが見たそうでした。リトルボーイは長さ312mと長く、重さ約5tとすごく重たいようであつた。たまたまの1kgの重さのウランが広島をがれまの山にしてしまいました。そしてその三分間の短い映像で原子爆弾のいじめるかまでわかれなした。毎秒500mで熱線、衝撃波、放射線をふくんでいていじめるに人が死んでいくにはどういふことなのだと知りびっくりしました。

11月9日原爆力は何せ、いかに人を死ねるにせよ。昨日に原子爆弾を落とされたのかおたくわかりました。ぼくは是非にすこしきょうみを持ちました。今日は一日に原爆について教えてくれたことありがとうございます。またお会いすることを楽しみにしています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

今日ほとんどの学生は原爆先生にいろいろな原爆のことについて教えてもらいました。まず最初に知ったことは、原爆は、糸を紡いで、その土場戸所に落とすには条件があることです。まず日月は直径が蜘蛛をこらる、日月は平野である、日月は空気がなかったところである。

八月六日の広島ではどのくらいのことかおこったか、というところで知ったことは、原爆を受けると、ひる、かむけたウジ虫が動き出すことがあった。ひる、かむけた下がった状態をどうにかつかむと、ひる、かむけるというかおけたというおそろしい見ようかおこった。爆発した所は島病院の上空600mであった。

その落ちた原爆の温度は表面が7000℃と太陽の表面は6000℃なので、太陽の+1000℃はある。そして中の温度は100万℃もあったという。

ほとんどは今日の学生がこと、原爆のことをもっと知りたいと思ひ、おかいと思ひすることもありました。回時間30分でこめたけのことを教えて頂きありがと



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の授業はとても恐かったです。私達が生まれる前に、このようなおそろしいことが起きていたとは思っていませんでした。

「日本は、世界で唯一の原子爆弾が投下された国」ということは知っていました。私は今まで、原爆の本や資料を調べて見てきました。川に逃げた人がいたこと、リトルボーイというものが落とされたこと、そして原爆ドームのこともある程度知っているつもりでした。しかし違いました。8月6日は、資料などでは伝えきれないほど、大変なことがおきていました。想像できないほどの死者がでたり、考えられないほどの痛みと苦しさを経験した人がいたこと、助けようとしても助けられない兵隊さんの悔しさ、全てが私の知らない現実でした。そして、そんなことが、長崎でももう一度起きてしまった。この状況ょうを、私がその時代に生まれていたら受け止めることができたのでしょうか。私には絶対に無理です。もう2度とこんなことが起きませんようにと8月6日から8月9日の午前11時まで願った人が大勢いたと思います。しかし、それも願わず午前11時2分、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

長崎に「ファットマン」という原爆が落とされました。

日本人のほとんどが絶望的は気持ちだったと思います。

そして8月15日、日本はポツダム宣言を受け入れ終戦。原爆

を落とす前に終戦はできなかつたのでしょうか。私はそ

れが悔しくてなりません。日本はそんなに死者や被

爆者、被害者を出さないと「終戦」という決断は出せなかつ

たのでしょうか。

今回、原爆先生の授業を受けて、とても不安なこと

は一つあります。それは、技術の進歩です。広島で爆発した

のは、60kgあったウランの中での1kgだけ。そのたった1kgで

広島はこんな大きな被害を受けました。そのときは技術が

進歩していなかつたからあの地域だったけれど、今はとても技術が進歩

しています。60kgのウランを積んだら60kg全てを爆発でき

ると思います。そして広島は60倍の被害を受けます。きっと

東京に落ちたら、東京はがれきだけになってしまいます。私

はこの原爆の恐しさ、痛さ、かなしさを次世代に伝え

ていきたい。大勢の人にじつなくてもいい。近くにいる

周りの人に伝えていきたい。今日は本当に、

ありがとうございました。